

2025年4月27日(日) 第二礼拝「平安の根拠」詩篇 139 篇 16 節

イエス様を信じる人のことを主は前もって知っておられ、胎児期からその人の名前と一生をいのちの書に記録しておられます。「わたし(神様)はヤコブを愛し、エサウを憎んだ(ローマ 9:13)」とありますが、これは運命ではありません。神様は私たちの意志を尊重されます。私たちが何を選び、決定するかを、神様は事前に知っておられ、その上で私たちを選んでくださったのです。そして、十字架によって私たちのすべての罪を赦し、いのちの書に名前を記録してくださいました。これが永遠の平安であり、平安の根拠です。

第一番目、主は私たちを探り、私たちのすべてを知っておられます。主は私たちが座るのも、立つのも、成功も、失敗も、私たちの歩みのすべてをご存知です。私たちを監視し、支配し、恐怖を与えようとされているのではなく、父親が子どもを愛し見守るように、主は愛の目で私たちを見守り、導いておられるのです。ことばが私たちの舌にのぼる前に、主はそれをことごとく知っておられ、私たちの心を守ってくださいます。これが平安の根拠です。

第二番目、主がともにおられます。主は私たちの前からも後ろからも取り囲んでくださいます。また、過去に起こったこと、現在のこと、未来に起こるであろうこと、良いことも悪いこともすべて知っておられ、主の御手を私たちの上に置いてくださっています。たとえ、私たちが天に昇るほどの最高の霊的状态(聖霊充滿)にあっても、よみに床を設けるほどに落ち込んでいる時も、遠い海の果てに住んでいても、主はともにいてくださいます。ヨセフがエジプトで投獄されている時も、総理に就任した時も、主はヨセフと共におられました。私たちが暗やみの中にあっても、主は絶望を希望に変えてくださるお方です。主にとって闇は暗くなく、夜は昼のように明るいのです。いかなる境遇にあっても、主の御手が私たちを導いてくださり、希望を与えてくださいます。また、神様は私たちの内臓を造り、母の胎のうちで組み立てられました。私たちの体は病気に打ち勝つ免疫力を与えられているので、たとえば病気になっても回復へと動きます。これはあまりにも不思議な神様の御業です。

第三番目、主は私たちの一生を記録しておられます。「…神は私たちを世界の基の置かれる前から彼にあって選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。」(エペソ 1:4) 私たちはこの世に偶然生まれたものではありません。神様は、世界の基が置かれる前から私たちを選び、母の胎から生まれる前にいのちの書に私たちの一生を記録してくださいました。私たちが何歳で何を行うか、学校や職場や結婚などすべて、私たちに対する神様の予定が記録されました。私たちは自由選択をしたかのように思えますが、その選択の中でも聖霊が導かれ、私たちのうちに志を立てさせ、事を行わせてくださるのです。全ての宗教は運命論を信じます。しかし、神様の意志(御心)はイエス様による十字架の救いです。私たちは十字架により罪赦され、御前で聖く、傷(罪)のない者とされました。イエス様は私たちの罪のために死なれ、罪となられ、呪われた者となり、代わりに私たちは神の子とされ、いのちの書に名前が記録されました。主の計画ははかり知れません。これが平安の根拠です。アーメン！